

報道関係各位

2011年12月15日

## ANA とニュージーランド航空 コードシェア運航に向けた基本合意を締結 (2012年3月からを予定)

全日本空輸株式会社(本社:東京 代表取締役社長:伊東信一郎 以下、ANA)とニュージーランド航空(本社:オークランド・ニュージーランド CEO:ロブ・ファイフ 以下、NZ)は12月14日、コードシェアやグランドハンドリングサービスの提供などを含んだパートナーシップの覚書(MOU: Memorandum Of Understanding)をアジスアベバ(エチオピア)にて締結、2012年3月25日からの提携開始に向けて 1 基本的合意に至りました。 1 関係国政府の認可を前提とする

この提携によって、NZのお客様にとっては、成田、関西国際空港を経由してANAが運航する日本国内の空港へのネットワークをご活用いただけるようになります。また、ANAのお客様にとっては、オークランドを基点として、ニュージーランドやオーストラリアへのアクセスがますます便利なものとなります。

また、ニュージーランドからの旅行者にとっては、日本を経由して欧州やアジア地域の都市へ快適なご旅行をお楽しみいただけます。ANAは現在、欧州へはロンドン、パリ、ミュンヘン、フランクフルトの4都市に就航しており、この他に中国、インド、韓国を含むアジア各都市にも充実したネットワークを展開しています。

ANAの専務取締役岡田圭介は、「このパートナーシップによって、ニュージーランドだけでなく、オーストラリアや太平洋の各諸島へのアクセスが可能になることは、我が社のネットワークにおいて非常に価値のあることだと喜ばしく思っています」と述べています。「またANAとしても、主にプレジャーを目的とした旅行先として、ANAグループ会社による旅行商品の新規展開をはじめニュージーランドへの日本人旅行者を増やすべく協力していきたいと考えています」。

NZのクリストファー・ラクソン グループゼネラルマネージャー・インターナショナルエアラインは「日本はNZにとって過去30年以來非常に重要な国であります。今回のANAとの提携によって、NZにとっては日本国内と日本以遠の充実したネットワークを活用することができます」と述べています。「NZは強固なアライアンス提携によってコアビジネスを強化していくという明確な戦略を持っており、今回のANAとの新たなコードシェア提携は、この戦略に沿ったものです。」

NZは2012年3月末より成田空港の使用ターミナルを第2ターミナルから第1ターミナル南ウイングへと移動する予定です。これに伴い、ANAの運営によるラウンジの利用や、ANAを含むスターアライアンス各社とのスムーズな乗り継ぎが実現し、お客様の利便性がより一層高まります。



ANA と NZ のコードシェアは、関係国政府の認可を条件とします。2012 年 3 月 25 日からの NZ の日本路線運航スケジュールはこれまで通り変更なく、成田空港から週 5 便、関西空港から週 3 便をオークランドまで運航する予定です。

以上

< 報道関係からのお問い合わせ先 >

ANA 広報室 03-6735-1111

ニュージーランド航空 日本地区 マーケティング本部 日下部・上村 03-5521-2733